



ドリアス

富山県

NO.39 2006年4月

# 中央植物園だより



ヤマシャクヤク *Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Takeda ボタン属は3つのグループに大別される。すなわち、①北米西部に分布する草本性のパエオニア・カリフォルニカの仲間、②中国に分布する木本性のボタンの仲間、③ユーラシアに分布する草本性のシャクヤクの仲間。このうち、もっとも多様化しているのがシャクヤクの仲間。地中海沿岸から東アジアにかけてのいくつかの地域に、あわせて27種ほどが分布する。日本に自生するのはヤマシャクヤクとベニバナヤマシャクヤクの2種。ヤマシャクヤクは山地の沢沿いの落葉樹林などに生え、小ぶりだが趣のある白い花を咲かせる。

撮影/岡本政雄さん (平成17年度私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

## 4月～6月のサンライトホール展示

# 植物園で楽しむ日本列島の桜旅

4月1日（土）～5月1日（月）

今ではサクラといえばソメイヨシノを思い浮かべる人が多いかもしれませんが。しかし、日本列島には各地に固有な野生のサクラがあり、古くから伝わる園芸品種も数多くあります。こうした多様性こそサクラ本来の魅力といえるでしょう。

中央植物園には約80種類のサクラが植えられています。この企画展では、これらの中から約20種類をパネルや写真で紹介いたします。園内で実際に咲いているサクラとあわせてご覧いただくと、植物園で「日本列島の桜旅」が楽しめます。

また、今年から植物園では「今年の桜」を選びました。今回は、北前船交易で富山とも所縁の深い北海道松前で作出された‘マツマエベニタマニシキ(松前紅玉錦)’です。

‘マツマエベニタマニシキ(松前紅玉錦)’



## 第27回 野生ラン展

5月3日(水)～5月5日(金)

富山県蘭協会と共催で、ランの野生種と園芸品種約250点を展示します。また会期中はランの即売も行います。



## バラとバラ図譜展

5月19日(金)～5月31日(水)

地元愛好団体の協力で、美しい花を咲かせるバラの切花を展示し、併せて中央植物園が所蔵する二口善雄画伯の描いたバラの植物画も展示します。



## さつき展

6月2日(金)～6月4日(日)

地元愛好団体の協力で、美しい花を咲かせるサツキの盆栽を展示します。



砂浜にはハマナスやコウボウムギなどの特有な植物が見られるように、乾燥や塩分などにも耐える特殊な種類のきのこが生育しています。

その代表的な種はショウロでしょうか。ショウロは漢字で「松露」とも書かれ、春と秋に海岸のクロマツ林に発生して、さわやかな香りがあることから全国で広く食用にされてきました。また丸くてかわいい形から「松露」の名前をもったお菓子も各地に見られます。

隣の石川県は千里浜など長い砂浜があり、クロマツ防風林で行われるショウロ採りは風物詩の一つと聞いています。しかし、富山県はコンクリートの人工護岸が発達したため、クロマツなどが生える自然の砂浜が非常に少なく、自然海岸率は5%と全国でも大阪、愛知についでワースト3位になっています。また河川に作られたダムによって山間部から砂の供給が激減したことも砂浜が減った原因でしょう。海岸は環境が激しいため、一度改修工事を行った場所では砂浜が残ったとしても豊かな自然回復は困難です。先ほどのショウロも県内では黒部市と氷見市で確認されましたが、黒部市の生育地では工事が行われ、以後発生が見られなくなりました。また北陸3県では1ヶ所しか知られていなかったスナヤマチャワンタケの生育地も、もと見られた場所は冬に富山湾の寄り回り波によって削られ、現在は消失してしまいました。こうして海岸生きのこの生育地は年を追うごとに狭まっています。

しかし、昨年の秋に氷見市の海岸で植物園友の会きのこ部会会員の方がアラナミケシボウズタケを発見されました。ケシボウズタケの仲間は、いずれも頭部が1～2cmで丸く、

これに数cmの柄がついているというユーモラスな形をしています。この形がケシの果実を思い出させることから「芥子坊主（ケシボウズ）」の名前がつけました。今回見つかった砂浜でも砂の上にはきのこの頭しか見えないため、一見するとノウサギの糞とそっくりで区別が付きません。

ケシボウズタケの仲間には海岸生の種類が多いのですが、北陸3県では過去に金沢市で1度しか記録がありません。全国的にも記録が少ないため、今回の発見は貴重なデータとなりました。今回アラナミケシボウズタケが発見された場所は小さな入江に面した幅10mもない砂浜海岸で、環境変化などによっては絶滅も危惧されます。

このように中央植物園では友の会と協力して、富山県内にどんな種類のきのこがあるのかを調査しています。



氷見市の砂浜で発見されたアラナミケシボウズタケ

## 植物園 トピックス

### ■17年度の「植物園であそぼう」が終了

中央植物園では、文部科学省の「地域子ども教室推進事業」の一環として、10月から3月までの半年間「植物園であそぼう」と題した小・中学生向けのイベントを実施しました。内容は、草木を使った遊びから、草木染め、クリスマス飾り作り、植物バイオの実験、植物の育て方までさまざま。本や写真ではなく、実際に植物に触れてもらう体験を重視しました。土・日を中心に35回にわたって開催したところ、のべ約400人の参加がありました（保護者を含む）。参加



かぼちゃを使ったちょうちんづくりに挑戦



樹木の枝や実を使ってクリスマスリースを作製

者でもっとも多かったのは小学生で全体の48%を占め、中でも小学1～4年生の参加が目立ちました。「理科離れ」が叫ばれる昨今ですが、こうした体験がき

かけとなって植物や自然への関心を深めてもらえればと願っています。なお、この事業は18年度も引き続き行われる予定です。

## これからが見ごろの植物

### キボタン

*Paeonia lutea* Delavay ex Franch.

雲南省など中国の西南部に分布する木本性のボタンの一種。花はボタンより小さく、2～3個がやや垂れ下って咲きます。「黄牡丹」の名前のとおり花は黄色ですが、しばしば花びらの基部に赤い斑紋が入ります。暗赤色の花をつける近縁種にパエオニア・デラバイ (*Paeonia delavayi* Franch.) などがあり、キボタンと同様な分布をします。分布域の北東側に赤花の個体が、北西～南側に黄花の個体が多い傾向がありますが、花色の変異は連続的で、黄色、オレンジ色から暗赤色までさまざまな花色の個体が混生している集団も存在します。花色と他の形質との相関はみられません。したがって、最近ではパエオニア・デラバイという変異に富んだ一つの種が存在するとみなされ、キボタンはその中の一型と考えられているようです。園内では、「ボタン・シャクヤク園」と「雲南の植物」エリアで5月下旬に開花します。(主任 高橋一臣)



## 催し物のご案内

### ■サンライトホール展示

企画展「植物園で楽しむ日本列島の桜旅」

4月1日(土)～5月1日(月)

第27回 野生ラン展

5月3日(水)～5月5日(金)

企画展「バラとバラ図譜展」

5月19日(金)～5月31日(水)

さつき展

6月2日(金)～6月4日(日)

私の植物写真展

6月23日(金)～7月19日(水)

### ■観覧会・講座・講習会

講演会「日本列島の桜旅」

4月23日(日) 13:00～15:00

場所/ドリアスホール

講師/大原隆明(中央植物園)

定員/30名

参加費/入園料が必要

みどりの日 植物園ガイド

4月29日(土) 10:00、13:00、15:00

場所/園内

定員/一回20名程度

参加費/入園料が必要

春のガーデニング相談会 ◎要申込

4月30日(日) 13:00～15:00

場所/研修室

定員/30名 参加費/無料

園芸講習会「ランの植え替えと管理」

5月3日(水)、5月4日(木)

13:00～15:00

場所/ドリアスホール

講師/富山県蘭協会会員

定員/30名

参加費/入園料が必要

デジカメ教室「花を撮ろう」 要申込

5月14日(日) 10:00～15:00

場所/園内・富山県ITセンター

定員/16組 参加費/無料

→この行事の申込方法は、富山県ITセンター情報工房施設(TEL 076-444-7887)までお問合せください。

第26回 植物画講習会 ◆要申込

5月20日(土)・21日(日)

10:00～16:00

場所/研修室

講師/豊田路子・岡田宗男(植物画家)

定員/50名 参加費/無料

植物写真教室

「やさしい花の撮り方」 ◆要申込

5月28日(日) 13:00～16:00

場所/研修室・園内

講師/富山県写真家協会会員

定員/40名 参加費/無料

植物園ボランティア基礎講座

1. 植物園の歴史と役割 ◎要申込

6月11日(日) 13:00～15:00

場所/研修室

定員/30名 参加費/無料

### ■月例行事

日曜植物案内

5月7日(日)、6月4日(日)、

7月2日(日) 11:00～12:00

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

植物園オリエンテーリング

4月16日(日)、5月21日(日)、

6月18日(日) 10:30～11:30(受付)

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

### ■夜間開園

ゲッカビジン観賞

6～7月の開花時2晩

19:00～21:30(入園は21:00まで)

場所/サンライトホール、展示温室

入園料/300円(高校生以下無料)

◎要申込 事前の申込が必要です。平日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け付けています。

## 友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

## 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円  
団体料金(20名以上) 480円  
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」に乗車し「中央植物園」停留所下車、徒歩約8分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分